

## 平成27年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	4. 学習状況調査事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	4. 教育センター費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額		
臨時	単独	計画	0	0	621	実施計画	第3章	「心豊かな人づくり、まちづくり」～教育の充実、スポーツ活動の推進～	4,168
							基本施策6	確かな学力が向上するまちにします	820
									820
							施策1	確かな学力を定着させます	820
								平成27年度	888

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									0

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・学習状況調査作成委員会を年間3回開催し、調査問題を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校に通う小中学生に調査を行います。</li> <li>・調査結果を集計・分析し、報告書を作成、各小中学校に配付します。</li> </ul>	<p>(事業の目的) 市内小中学校に通う小中学生の国語、算数・数学、理科、英語(中学校のみ)の基礎的・応用的な学力の一部について現状を把握し、授業改善を図り、学力の向上をめざします。</p>	<p>(事業の効果) 調査結果及びその分析をセンター等報告会、報告書、校内研修会等を通じて学校にフィードバックすることにより、学習指導の改善に寄与できます。さらに、基礎学力向上のために、補習用プリントを作成し、各小中学校で補習や家庭学習の教材として活用しています。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 基礎学力の定着は図れてきています。各学校における基礎学力の向上のための取り組みも充実してきました。今後、学んだことを活用する力や表現力・思考力を高める方策を模索していきます。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 平成22年度より基礎学力に加え、活用する力の調査を行っています。この調査をより充実した調査にするために、問題作成委員の構成を充実させ、よりよい問題づくりを行うようにしていきます。</p>	<p>(見積についての特記事項) 佐倉の教育施策の重点項目に「確かな学力の向上」が挙げられています。市民の教育に関する意識調査の結果からも、児童・生徒の学力向上を求める声があります。今後も学力向上を図る取組の充実を図っていきます。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
差引一般財源								0	0	0	0